

◆脱炭素は「経済成長の機会」

カキザキ（新庄市）が運営する山形国際ホテル（山形市）とニューグランドホテル（新庄市）の社員を対象としたカーボンニュートラル研修会が4日、山形市の山形国際ホテルで開かれ、企業や社会に求



められている行動について理解を深めた＝写真。

CSRインテグレーション（仙台市）の今田裕美社長が講師を務め、両ホテルの17人が参加した。今田社長は、国が2050年までのカーボンニュートラル実現を掲げていることを紹介し、脱炭素を「経済成長の機会と捉えることが大切」と話した。シミュレーションカードゲームにも取り組み、将来世代が経験する温暖化は、今の世代の選択に左右されることを学んだ。

← 2023.4.5(水) 山形新聞朝刊



当日の様子

